

令和3年度 血液センター事業実施概要

1 血液製剤の供給実績

当センターでは、医療機関に安定的に血液製剤を供給するため、3日分の在庫を保有し、東北ブロック血液センターから1日に2回定時搬入をする体制をとっている。

供給実績については、新型コロナウイルス感染症による外来診療の制限があったものの、大幅な減少にはつながらず、前年度比97.6%となっており、安定的に供給できた。

区分	令和3年度実績 (単位)	令和2年度実績 (単位)	対令和2年度比
赤血球製剤	50,219	52,008	96.6%
血漿製剤	14,917	14,527	102.7%
血小板製剤	56,605	58,227	97.2%
合 計	121,741	124,762	97.6%

※単位換算について

赤血球製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位として換算

血漿製剤：「200mL 献血由来」を1単位、「400mL 献血由来」を2単位、「成分献血由来」を4単位として換算

血小板製剤：1単位 20mL で換算

2 献血実績

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、移動採血の中止があったものの、代替え献血会場を確保し、新型コロナウイルス感染対策を徹底したうえで、多くの県民の皆様が献血にご協力いただき、前年度比で101.4%の実績となり、需要に応じた献血血液の確保ができた。

(1) 献血者数

(単位：人)

	令和3年度			令和2年度			対令和2年度比
	合計	移動 採血車	献血 ルーム	合計	移動 採血車	献血 ルーム	
全血献血	28,605	24,598	4,007	28,535	24,172	4,363	100.2%
200mL 献血	958	641	317	1,009	653	356	94.9%
400mL 献血	27,647	23,957	3,690	27,526	23,519	4,007	100.4%
成分献血	13,402	-	13,402	12,906	-	12,906	103.8%
血漿	8,948		8,948	8,717		8,717	102.6%
血小板	4,454		4,454	4,189		4,189	106.3%
合 計	42,007	24,598	17,409	41,441	24,172	17,269	101.4%

(2) 重点項目

医療機関からの需要及び輸血による安全性向上のため、400mL 献血の推進を図るとともに、輸血用血液を安定的に確保するため、移動採血の稼働効率化を図ることを重点項目としており、400mL 献血率は、目標値 97.2%に対し 96.7%、移動採血車 1 稼働あたりの献血者数は、目標値 45 人以上に対し 44 人となり、目標にはわずかに届かなかった。

ア 400mL 献血率

目標値	全血献血者数	200mL 献血数	400mL 献血数	400mL 献血率
97.2%	28,605 人	958 人	27,647 人	96.7%

イ 移動採血車 1 稼働あたりの献血者数

目標値	献血者数	稼働数	1 稼働あたりの献血者数
45 人	24,598 人	558	44 人

(3) 定点献血等の実施状況

定点献血会場として、大型ショッピングセンター等で定期的な献血を実施したほか、陸上自衛隊神町駐屯地へ定期的に移動採血車を配車し、前年度比 98.1%の献血実績となった。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による移動採血中止の代替会場としても臨時配車し、献血者を確保した。

(単位：人)

会 場	実 施 日	令和3年度			令和2年度			対令和 2 年度比
		回 数	献血者 総数	1稼働 あたり	回 数	献血者 総数	1稼働 あたり	
イオン山形北店	年4回	4	202	50.5	4	176	44.0	114.8%
イオンモール山形南	年4回	4	166	41.5	4	150	37.5	110.7%
イオンモール天童	毎月第3日曜日	10	535	53.5	12	590	49.2	90.7%
イオン東根店	奇数月第1土曜日	6	324	54.0	6	283	47.2	114.5%
こぴあ鶴岡店	毎月第2土曜日	12	726	60.5	12	702	58.5	103.4%
イオンモール三川	毎月第4土曜日	12	677	56.4	11	663	60.3	102.1%
計		48	2,630	54.8	49	2564	52.3	102.6%
陸上自衛隊神町駐屯地		3	117	39.0	5	236	47.2	49.6%
合計		51	2,747	53.8	54	2800	51.9	98.1%

(4) 山形県内の献血と供給のバランス

東北 6 県で献血いただいた血液は、すべて東北ブロック血液センターで検査及び製造され、必要な血液製剤が各地域センターへ分配されるが、山形県においては、県内で献血いただいた血液の量で、県内の医療機関への供給が十分に賄われた。

(5) 原料血漿の確保実績

血漿分画製剤の原料となる血漿は、安全性の確保並びに倫理的な見地から、その全てを国内の献血でまかなう方針が国から示されており、国内自給率 100%達成に向けて割り当てられた目標量を確保した。

原料血漿確保目標	確保実績	実績／目標量
102,281L	106,202L	103.8 %

※広域事業運営体制のため、青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島 6 県分の合算の数値

3 献血の普及啓発

(1) 各種団体等との連携

ア 献血セミナーの開催

若年層の献血者確保を図るべく、将来の献血を担う小・中・高校生等に、血液や献血に対する正しい知識を学んでもらうことを目的に、献血セミナーを実施した。特に、高等学校においては、コロナ禍での対応として、校内放送やリモートでのセミナーで献血啓発に取り組んだ結果、10 代の献血者数は前年度比 104.9%の実績となり、若年層献血者確保に効果があった。

	小学校	中学校	高等学校	大学	その他	計	令和 2 年度
実施回数	0 回	0 回	39 回	25 回	10 回	74 回	107 回
参加人数	0 人	0 人	3,492 人	1,390 人	263 人	5,145 人	3,997 人

【年齢別献血者数】

年代	計画数	令和 3 年度実績	構成比	達成率	令和 2 年度実績	対令和 2 年度比
10 代	2,300	2,225	5.3%	96.7%	2,121	104.9%
20 代	6,644	5,777	13.8%	87.0%	5,764	100.2%
30 代	7,848	7,346	17.5%	93.6%	7,428	98.9%
計	16,792	15,348	—	91.4%	15,313	100.2%
40 代以上	23,457	26,659	63.5%	113.7%	26,128	102.0%
合計	40,249	42,007	—	104.4%	41,441	101.4%



献血啓発に関するグループワーク
(新庄東高校)



校内放送形式による献血セミナー
(県立高島高校)

イ 学生ボランティアの育成

若年層の献血者を確保するため、同年代に対し献血の必要性を呼びかけてもらうことを目的に形成している県内の大学・短大・専門学校の学生を中心としたボランティア組織を拡充・活用し、学生献血推進ボランティアによる献血セミナーにも取り組んでいるほか、新型コロナウイルス感染拡大の制限下、各校内での推進活動及びメディアでの広報活動等を展開した。

【学生献血推進ボランティア】

山形大学、山形大学農学部、山形大学工学部、山形県立保健医療大学
山形県立米沢女子短期大学、酒田市立酒田看護専門学校、三友堂看護専門学校
山形県立米沢栄養大学、東北公益文科大学

(2) 広報及びキャンペーン活動

ア 広報活動

新型コロナウイルス感染拡大する中においても、献血者確保のため、広く県民に献血の普及啓発を図るべく、ホームページを通じ積極的に情報発信するとともに、県内報道機関への情報提供及び取材要請を実施した。

- ・ ホームページによる情報発信（通年）
- ・ SNS（twitter）による情報発信（通年）
- ・ いこう！献血キャンペーンラジオ、WebCMの放送（令和3年4月26日～6月30日）
- ・ いこう！献血キャンペーンテレビ、ラジオ、WebCMの放送（令和3年9月21日～）
- ・ 献血普及啓発テレビCM「折り紙チッチ」篇の制作・放送（令和2年3月から継続）
- ・ 県内各報道機関への献血予定情報の提供（通年）
- ・ 県内各報道機関へのプレスリリースの発信（通年）
- ・ モンテディオ山形と連携した広報活動の展開（通年）
- ・ パスラボ山形ワイヴァンズと連携した広報活動の展開（通年）
- ・ 県内市町村主催成人式における広報資材の配付（随時）

イ 各種キャンペーンの展開

新型コロナウイルス感染拡大の影響でイベント等は実施できなかったが、各種キャンペーンを実施し、献血協力を呼びかけた。

・全国キャンペーン

実施月	名 称
4 月～	いこう！献血キャンペーン
6 月	世界献血者デー（6 月 14 日）
	※ ABO 式血液型を発見し、ノーベル生理学・医学賞を受賞した カール・ラントシュタイナー氏の誕生日
7 月	愛の血液助け合い運動
12 月	全国学生献血クリスマスキャンペーン
	コミックマーケット 99 献血応援イベント
1 月	はたちの献血キャンペーン
2 月	ラブラッド新規登録キャンペーン
不定期	献血予約キャンペーン

・血液センター主催

学生献血サマーキャンペーン	令和 3 年 8 月 1 日（日）～28 日（土）内の 一部街頭献血会場にて開催
夏場の献血者確保を目的に、県内の一部街頭献血会場にて、献血にご協力いただいた方に、学生ボランティアが企画したオリジナル記念品を進呈した。	
やまがた春の献血キャンペーン	令和 4 年 3 月 5 日（土）～31 日（木）
献血者数が例年減少する傾向のある春期の献血者確保及び若年層献血者確保強化を図るべく実施。10～20 代の献血にご協力いただいた方に、オリジナル記念品を進呈した。	

・献血ルーム SAKURAMBO 主催

成分献血次回予約キャンペーン	令和 3 年 6 月 1 日（火）～3 月 31 日（木）
平日の成分献血の確保及び献血事前予約率の向上を目的に、献血終了後、次回の予約（平日の成分献血）をいただいた方に、オリジナル記念品の進呈をした。	
献血ルームクールシェアキャンペーン	令和 3 年 7 月 1 日（木）～9 月 30 日（木）
夏の暑い時期に、献血ルームを涼める場所として PR し、献血者に快適な場所を提供する「クールシェア」を展開。また、期間中の平日に成分献血に協力いただいた方に、記念品として「冷やしシャンプー」等を進呈した。	

モンテディオ山形応援キャンペーン
「モンテ応援デー」

令和3年2月25日（木）～12月7日（火）
※期間内の毎週火曜日・木曜日

毎週火曜日と木曜日を「モンテディオ山形応援デー」とし、特に使用期限の短い血小板製剤を安定的に医療機関に届けられるよう平日の成分献血の協力を求めた。期間中の毎週火曜・木曜に成分献血に協力いただいた方へオリジナル記念品を進呈した。



全国学生献血クリスマスキャンペーン
(こびあコープ酒田店)



CM「折り紙チッチ」編

(3) 献血予約及び複数回献血協力の推進

3密を回避するための新型コロナウイルス感染対策として、事前予約を広く周知するとともに、複数回献血協力の推進を図るため、献血 Web 会員サービス「ラブラッド」の登録を奨励し、前年度比 131.5%の実績となった。

令和3年度 新規登録者数	令和2年度 新規登録者数	対令和 2年度比	県内 登録者累計
4,788 人	3,642 人	131.5%	19,296 人

4 調査、研究事業の推進

輸血医療の質的向上を目的とした調査研究事業を推進し、適正かつ安全な輸血療法の向上をめざし、県と合同で山形県の血液使用量の 90%以上を占める医療機関とともに県合同輸血療法委員会を開催した。

(1) 山形県合同輸血療法委員会での取り組み

- ア 廃棄血削減に関する取り組み
- イ 適正な輸血の実施に向けた取り組み
- ウ 地域連携を基盤とした取り組み

(2) 委員会の開催と学会等への参加

実施日	名 称	場 所	摘要
6 月 11 日（金）	第 21 回山形県合同輸血療法委員会	文書審議	委員 38 名参加
9 月 11 日（土）	第 119 回日本輸血・細胞治療学会 東北支部例会	福島県立医科大学及び WEB 開催	血液センター職員 4 名参加
9 月 14 日（火）	第 2 回山形県合同輸血療法委員会 看護師部会	WEB 開催	委員 11 名参加
11 月 9 日（火） ～11 日（木）	第 45 回日本血液事業学会総会	ロイトン札幌 （北海道）	血液センター職員 5 名参加
11 月 27 日（土）	第 22 回山形県合同輸血療法委員会	山形大学医学部	委員 32 名参加

5 研修の受入

輸血医学事業の一環として、山形大学医学部生を対象に、血液事業及び輸血医療に関する研修を実施した。

実施月	名 称	医療機関等	人数
通年	学外臨床研修	山形大学医学部	102 名
9 月	初期研修医研修	日本海総合病院	1 名

6 造血幹細胞提供支援の実施

造血幹細胞提供支援機関として、骨髄ドナー登録希望者に対し、事前説明及び登録受付を献血会場にて実施した。

令和 3 年度新規登録者数	県内登録者累計
352 人	8,214 人

7 血液センターの移転計画

血液事業本部が策定した地域センター施設整備更新計画に基づき、山形センターの移転新築整備については、当初計画から 1 年延長し、令和 3 年度から令和 4 年度の計画としたが、新型コロナウイルス感染症の影響により土地選定が難航しているため、さらに 1 年延長した計画とした。

令和 4 年度中に、移転候補地を選定予定。